

高効率熱供給ボイラの新設

プロジェクト実施者: (日本側) 数理計画、(モンゴル側) Anu-Service

GHG排出削減プロジェクトの概要

- 1) 学校において、旧型の熱供給ボイラ (Heat Only Boiler: HOB) に代わり、最新型の高効率HOBを導入し (300kW × 2台)、暖房用温水を供給する。
- 2) 複数の施設ごとに使われている旧型のHOBに代わり、高効率HOBを集約的に導入し (650kW × 3台)、暖房用温水を供給する。HOBは集中制御システムにより運転管理を行う。

導入するHOBは、排ガスの温度及び含有酸素濃度などの計測結果に基づきボイラ運転を最適化することにより、高効率を達成 (カタログ効率80-90%)。本事業により石炭消費量が削減され、CO₂排出削減を達成するとともに、大気汚染物質の排出を削減。



1) 第118学校

事業実施サイト

- 1) 第118学校 (ウランバートル市Khan-Uul地区)
- 2) ボルヌール郡 (ウランバートル市から約100km)

想定GHG削減量

298 tCO₂/年 (2020年までに1,788 tCO₂)

- 1) 第118学校: 92 tCO₂/年 (2020年までに552 tCO₂)
- 2) ボルヌール郡: 206 tCO₂/年 (2020年までに1,236 tCO₂)



2) ボルヌール郡